

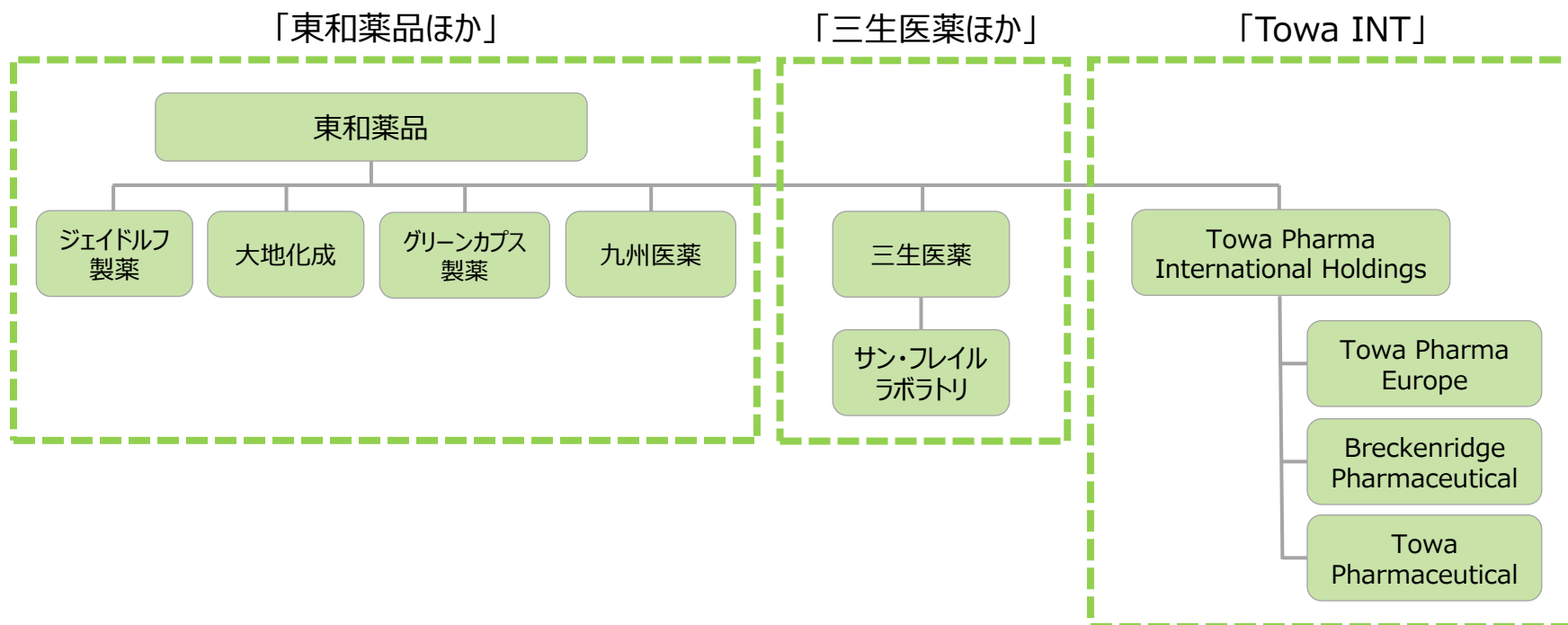
2026年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2026年2月
(証券コード：4553)

決算開示資料について

注意事項

- 本資料内では、国内セグメントの内訳につきまして、東和薬品、ジェイドルフ製薬、大地化成、グリーンカプス製薬、九州医薬を「東和薬品ほか」と表記し、三生医薬、サン・フレイルラボラトリを「三生医薬ほか」と表記しております。
なお、2025年4月1日に三生医薬を存続会社、カマタを消滅会社とする吸収合併を行いました。
また、海外セグメントのTowa Pharma International Holdingsにつきまして、「Towa INT」と表記しております。



目次

- 1. 2026年3月期第3四半期 決算概要**
- 2. 参考資料**

目次

1. 2026年3月期第3四半期 決算概要

2. 参考資料

2026年3月期第3四半期 決算について

● 前年同期比：連結で増収増益

売上高は、東和薬品で生産数量の増加に伴い販売数量が増加したこと、三生医薬で国内健康食品事業が伸びたこと、Towa INTで欧州BtoBの受託製造が増加したことにより、増収
売上総利益は、東和薬品の増収と、Towa INTの生産数量が増加したこと等による原価率の低下が、三生医薬の事業ミックスが悪化したことによる原価率の上昇を補い、増益
営業利益は、3区分全ての販管費の増加を、東和薬品・Towa INTの売上総利益の増加が補い、増益
経常利益は、デリバティブ評価益を約45億円計上したことにより、増益

● 通期計画比：連結で、売上高72.9%、営業利益72.2%

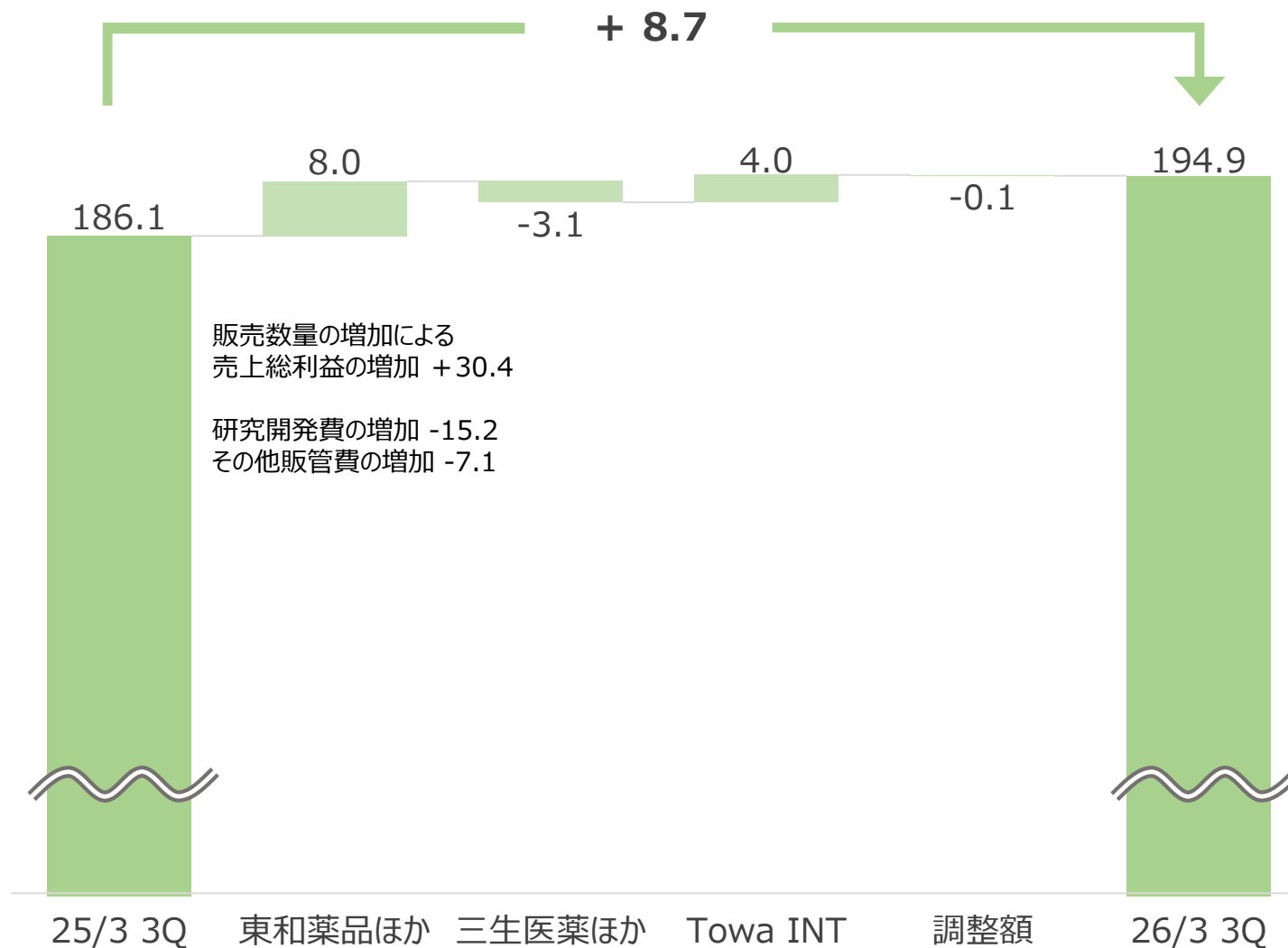
売上高は、東和薬品で限定出荷解除後の伸びが想定よりも小さい製品があり、進捗率は低調に推移
営業利益は、三生医薬で事業ミックスが悪化したことにより原価率が想定よりも上昇し、進捗率は低調に推移
経常利益は、計画外のデリバティブ評価益を約45億円計上したことにより、進捗率は好調に推移

	26/3 3Q実績		25/3 3Q実績	26/3 通期計画	
	金額	前年同期比	金額	金額	進捗率
売上高	2,040億円	+ 5.3%	1,937億円	2,800億円	72.9%
売上総利益	751億円	+ 6.2%	707億円	1,040億円	72.2%
営業利益	194億円	+ 4.7%	186億円	270億円	72.2%
経常利益	239億円	+ 10.3%	217億円	253億円	94.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	170億円	+ 16.8%	146億円	177億円	96.5%

期末レート (TTM) 1ドル	26/3 3Q	25/3 4Q	25/3 3Q	24/3 4Q
	156.56円	149.52円	158.18円	151.41円

2026年3月期第3四半期 営業利益の増減要因

(単位：億円)



2026年3月期第3四半期 決算概要（連結）

- 売上高・営業利益の前年同期比は、東和薬品において生産数量の増加に伴い販売数量が増加したことで、Towa INTで欧州BtoBの受託製造が増加したことが、三生医薬の業績悪化を補い、増収増益
通期計画比は、東和薬品で限定出荷解除後の売上が想定よりも伸びなかった製品があったこと、三生医薬で売上原価率が想定よりも上昇したことにより、進捗率は低調に推移
- 経常利益は、計画外のデリバティブ評価益を約45億円計上したことにより、増益で進捗率も好調に推移
なお、金融市場環境や為替動向等に不透明な部分があるため、通期計画は変更していない
(前年同期はデリバティブ評価益を約17億円計上)

(単位：百万円，%)

	26/3 3Q実績			25/3 3Q実績		26/3 通期計画		
	金額	対売上高比率	前年同期比	金額	対売上高比率	金額	対売上高比率	進捗率
売上高	204,065	100.0	+ 5.3	193,737	100.0	280,000	100.0	72.9
売上原価	128,944	63.2	+ 4.8	122,993	63.5	176,000	62.9	73.3
販 管 費	55,629	27.3	+ 6.7	52,132	26.9	77,000	27.5	72.2
営業利益	19,490	9.6	+ 4.7	18,611	9.6	27,000	9.6	72.2
経常利益	23,988	11.8	+ 10.3	21,756	11.2	25,300	9.0	94.8
税引前四半期純利益	23,950	11.7	+ 9.7	21,831	11.3	25,300	9.0	94.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	17,082	8.4	+ 16.8	14,624	7.5	17,700	6.3	96.5

2026年3月期第3四半期 決算概要（東和薬品ほか）

- 売上高は、生産数量の増加に伴い市場への供給数量が増加したことにより、増収
9月の限定出荷解除後、市場が安定している製品など想定よりも伸びが小さい製品があり、進捗率は低調に推移
引き続き通常出荷に戻した製品や近年追補品の拡売に努める
- セグメント利益は、研究開発費などの販管費の費消が遅れたことにより、増益で計画通りの進捗
(単位：百万円, %)

	26/3 3Q実績			25/3 3Q実績		26/3 通期計画		
	金額	対売上 高比率	前年 同期比	金額	対売上 高比率	金額	対売上 高比率	進捗率
売上高	141,670	100.0	+ 5.9	133,779	100.0	196,500	100.0	72.1
売上原価	85,169	60.1	+ 6.0	80,319	60.0	118,500	60.3	71.9
販管費	34,789	24.6	+ 6.9	32,551	24.3	49,800	25.3	69.9
セグメント利益	21,710	15.3	+ 3.8	20,908	15.6	28,200	14.4	77.0

- 販売数量実績（東和薬品単体、錠剤・カプセルのみ）
→ **119.0億錠** 対前年同期**3.3%増加** 通期計画進捗率**74.0%**
- 生産数量実績（東和薬品単体、錠剤・カプセルのみ）
→ **121.3億錠** 対前年同期**16.6%増加** 通期計画進捗率**74.6%**

2026年3月期第3四半期 決算概要（三生医薬ほか）

- 売上高は、国内健康食品事業が伸長したことにより、増収で計画通りの進捗
- セグメント利益は、利益率の良いニューアプリケーション事業が想定よりも伸びず、事業ミックスが悪化して売上原価率が上昇したため、減益で進捗率も低調に推移
- なお、ニューアプリケーション事業において競争環境が激化し、受注の一部を失注
競争環境は悪化しているが、通期計画達成に向けて新規顧客開拓や営業活動の強化に努める

(単位：百万円，%)

	26/3 3Q実績			25/3 3Q実績		26/3 通期計画		
	金額	対売上 高比率	前年 同期比	金額	対売上 高比率	金額	対売上 高比率	進捗率
売上高	22,099	100.0	+ 5.6	20,933	100.0	30,200	100.0	73.2
売上原価	17,823	80.6	+ 8.7	16,400	78.3	23,200	76.8	76.8
販 管 費	3,196	14.5	+ 1.8	3,139	15.0	4,600	15.2	69.5
セグメント利益	1,080	4.9	- 22.5	1,393	6.7	2,400	7.9	45.0

※のれん償却費は含みません。

2026年3月期第3四半期 決算概要（Towa INT）

- 売上高は、米国でのニトロソアミン問題による主力製品の売上悪化が続いているものの、欧州BtoBにおいて欧州のニトロソアミン基準厳格化前の駆け込み需要により受託製造が増加し、増収為替影響もあり、計画通りの進捗
- セグメント利益は、増収と、欧州BtoBにおいて生産数量が増加したこと等により売上原価率が低下し、増益
東和薬品との内部取引（共同開発によるライセンスフィー）を除く利益は計画通り着地する見込み （単位：百万円，％）

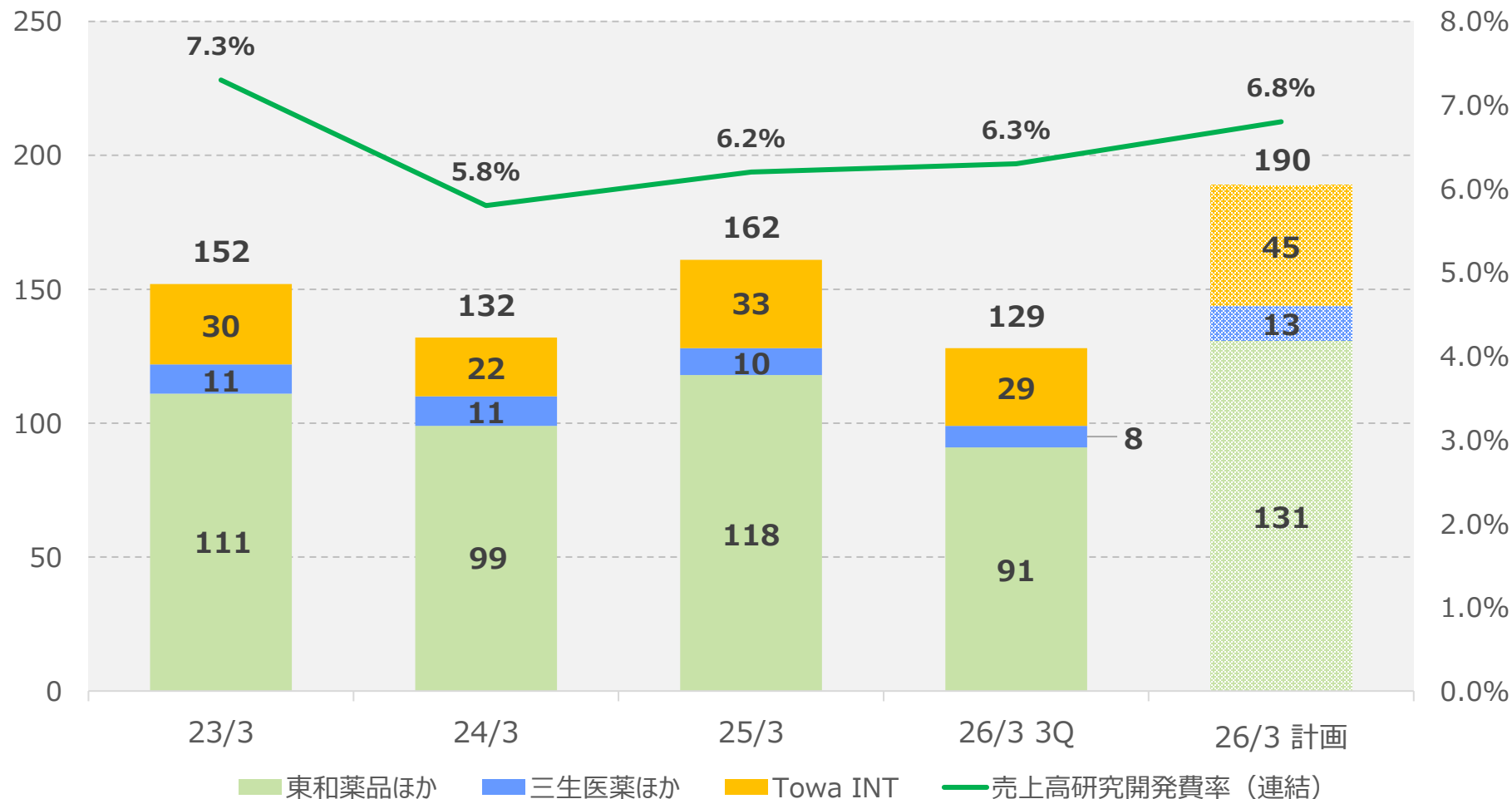
		26/3 3Q実績			25/3 3Q実績		26/3 通期計画		
		金額	対売上高比率	前年同期比	金額	対売上高比率	金額	対売上高比率	進捗率
売上高		40,844	100.0	+ 4.3	39,164	100.0	54,600	100.0	74.8
	欧州	26,877	65.8	+ 12.9	23,806	60.8	34,200	62.6	78.6
	米国	13,967	34.2	- 9.1	15,358	39.2	20,400	37.4	68.5
売上原価		26,158	64.0	- 0.9	26,399	67.4	34,600	63.4	75.6
販 管 費		14,648	35.9	+ 11.5	13,133	33.5	19,300	35.3	75.9
セグメント利益（損失）		38	0.1	—	- 368	- 0.9	700	1.3	5.4

期中レート（TTM） 1ユーロ	26/3 3Q	25/3 3Q	26/3 想定レート	期中レート（TTM） 1ドル	26/3 3Q	25/3 3Q	26/3 想定レート
	171.83円	164.83円	156.00円		148.74円	152.57円	145.00円

※通期計画の売上高・セグメント利益には、東和薬品との内部取引を含みます。
※のれん償却費は含みません。

研究開発費（連結）

（単位：億円）



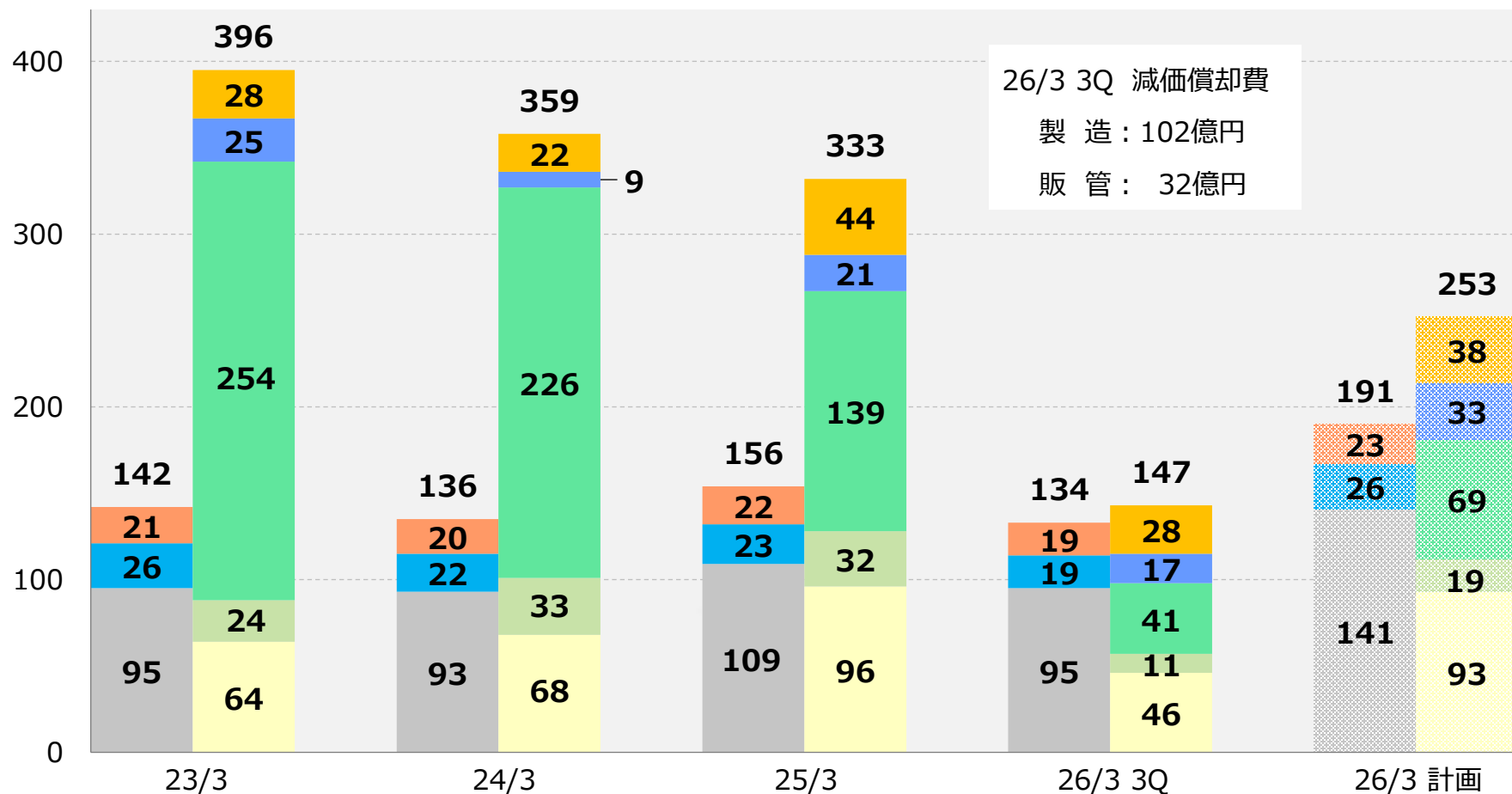
※グループ間取引消去後の数値を使用しております。

※Towa INTと三生医薬の23年3月期の連結会計年度は2022年1月1日～2023年3月31日の15ヶ月となっております。

※25年3月期より億円未満の端数処理方法を変更しております。

設備投資・減価償却費（連結）

(単位：億円)



※設備投資には有形固定資産・無形固定資産の取得を含みます。
 ※減価償却費には研究開発費分を含みます。
 ※減価償却費にはTowa INT及び三生医薬ののれん償却費を含みません。
 ※Towa INTと三生医薬の23年3月期の連結会計年度は
 2022年1月1日～2023年3月31日の15ヶ月となっております。
 ※25年3月期より億円未満の端数処理方法を変更しております。

- 設備投資 (Towa INT)
- 設備投資 (山形工場)
- 設備投資 (岡山工場)
- 設備投資 (その他)
- 減価償却費 (三生医薬ほか)
- 減価償却費 (東和薬品ほか)
- 設備投資 (三生医薬ほか)
- 減価償却費 (Towa INT)

目次

1. 2026年3月期第3四半期 決算概要

2. 参考資料

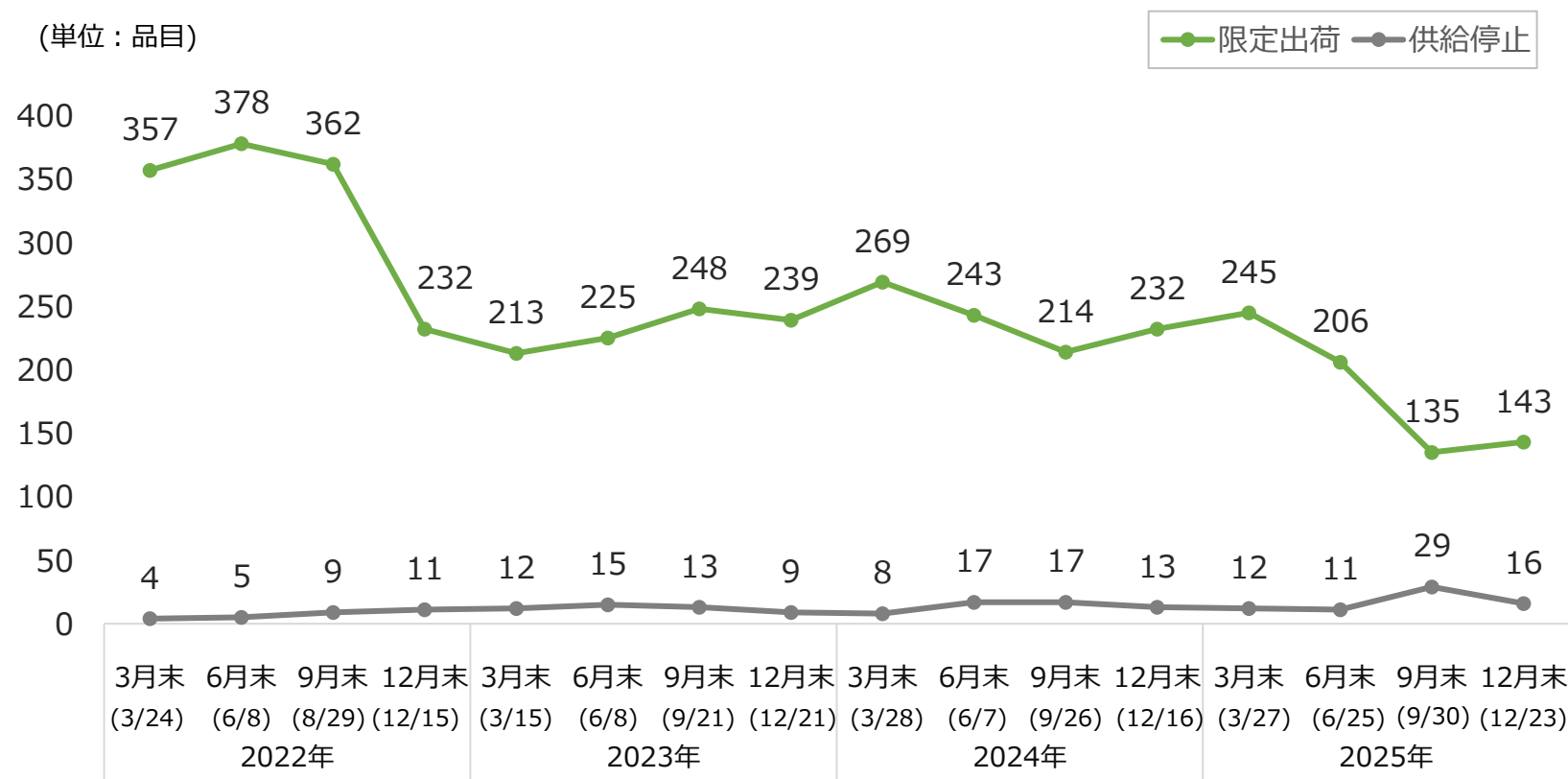
大塚製薬との医薬品製造における協業体制の構築について

- 大塚製薬と医薬品製造における協業体制の構築に向けた基本合意を締結
一部の長期収載品について、承継・製造委受託・ライセンス活用を通じて安定供給を目指す
- 短期的に生産数量増加や限定出荷品目減少に寄与する取り組みではないが、
国内医薬品産業を持続可能な産業構造に改革するための重要な第一歩となる協業だと考えている
- 特許が満了した先発医薬品とジェネリック医薬品を1つの**特許満了医薬品**市場として捉え、
特許満了医薬品の中でも将来にわたり治療上必要とされる医薬品を**長期必須医薬品**と位置付け
持続的に安定供給するエコシステムの構築と、社会全体の健全な循環モデルの実現を目指す

目的	大塚製薬の長期収載品の安定供給に向けた承継・製造委受託、 先発医薬品における戦略的な相互バックアップ体制の構築
手法	長期収載品かつ基礎的医薬品を優先（品目は順次拡大予定）し、 大塚製薬が保有する一部の医薬品に対して東和薬品が承継を前提に製造受託。 東和薬品のジェネリック医薬品開発時に、大塚製薬のライセンスを活用し、 相互のバックアップ生産体制を構築する。
時期	2026年3月以降、両社が合意した品目の生産準備が整い次第、順次

- 生産能力向上のための委託数量増加に向けた協業についても、現在複数企業と交渉を行っている

限定出荷品目数の推移



※2025年12月より限定出荷および供給停止品目数には薬価削除予定品目を含みます。

2026年3月期第3四半期 決算概要（国内セグメント）

(単位：百万円，％)

		26/3 3Q実績			25/3 3Q実績		26/3 通期計画		
		金額	対売上 高比率	前年 同期比	金額	対売上 高比率	金額	対売上 高比率	進捗率
国内セグメント	売 上 高	163,769	100.0	+ 5.9	154,713	100.0	226,700	100.0	72.2
	売上原価	102,993	62.9	+ 6.5	96,720	62.5	141,700	62.5	72.7
	販 管 費	37,985	23.2	+ 6.4	35,690	23.1	54,400	24.0	69.8
	セグメント利益	22,791	13.9	+ 2.2	22,301	14.4	30,600	13.5	74.5
東和薬品ほか	売 上 高	141,670	100.0	+ 5.9	133,779	100.0	196,500	100.0	72.1
	売上原価	85,169	60.1	+ 6.0	80,319	60.0	118,500	60.3	71.9
	販 管 費	34,789	24.6	+ 6.9	32,551	24.3	49,800	25.3	69.9
	セグメント利益	21,710	15.3	+ 3.8	20,908	15.6	28,200	14.4	77.0
三生医薬ほか	売 上 高	22,099	100.0	+ 5.6	20,933	100.0	30,200	100.0	73.2
	売上原価	17,823	80.6	+ 8.7	16,400	78.3	23,200	76.8	76.8
	販 管 費	3,196	14.5	+ 1.8	3,139	15.0	4,600	15.2	69.5
	セグメント利益	1,080	4.9	- 22.5	1,393	6.7	2,400	7.9	45.0

※のれん償却費は含みません。

2026年3月期第3四半期 決算概要（海外セグメント）

(単位：百万円，％)

		26/3 3Q実績			25/3 3Q実績		26/3 通期計画		
		金額	対売上 高比率	前年 同期比	金額	対売上 高比率	金額	対売上 高比率	進捗率
海外セグメント	売上高	40,844	100.0	+ 4.3	39,164	100.0	54,600	100.0	74.8
	売上原価	26,158	64.0	- 0.9	26,399	67.4	34,600	63.4	75.6
	販管費	14,648	35.9	+ 11.5	13,133	33.5	19,300	35.3	75.9
	セグメント利益 (損失)	38	0.1	—	- 368	- 0.9	700	1.3	5.4
欧州	売上高	26,877	100.0	+ 12.9	23,806	100.0	34,200	100.0	78.6
	売上原価	16,992	63.2	+ 8.0	15,730	66.1	21,200	62.0	80.2
	販管費	10,675	39.7	+ 14.2	9,347	39.3	13,300	38.9	80.3
	セグメント損失	- 790	- 2.9	—	- 1,272	- 5.3	- 300	-0.9	—
米国	売上高	13,967	100.0	- 9.1	15,358	100.0	20,400	100.0	68.5
	売上原価	9,165	65.6	- 14.1	10,669	69.5	13,400	65.7	68.4
	販管費	3,972	28.4	+ 4.9	3,785	24.6	6,000	29.4	66.2
	セグメント利益	828	5.9	- 8.3	903	5.9	1,000	4.9	82.9

※のれん償却費は含みません。

2026年3月期第3四半期 決算概要（セグメント情報）

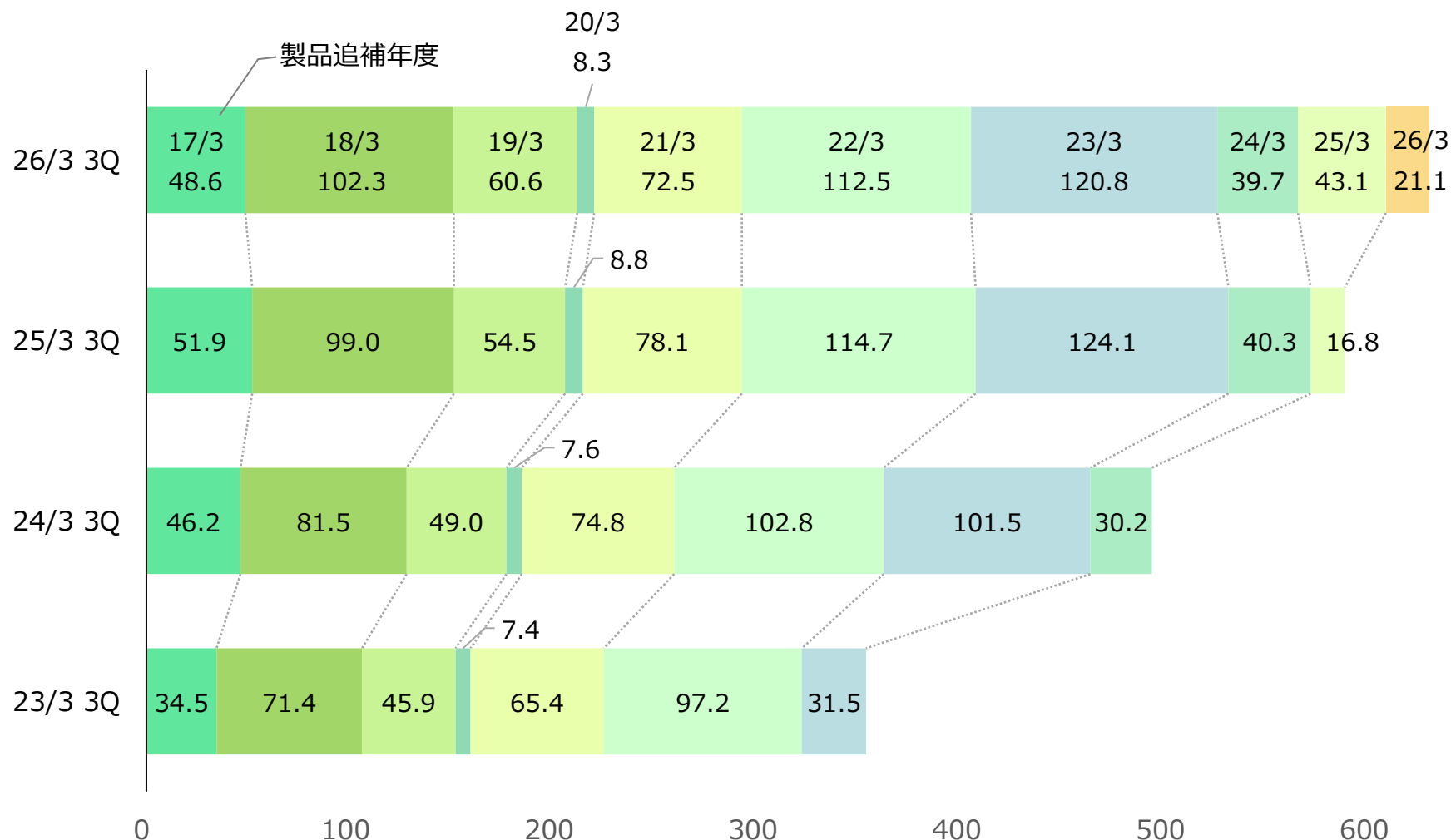
(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (のれん償却費等)	連結
	国内	海外			
	東和薬品ほか 三生医薬ほか	Towa INT			
売上高	163,769	40,844	204,614	- 549	204,065
売上原価	102,993	26,158	129,151	- 206	128,944
販管費	37,985	14,648	52,634	+ 2,995	55,629
セグメント利益	22,791	38	22,829	- 3,338	19,490

※販管費の調整額は、のれん償却費と、東和薬品とTowa INTの内部取引を含むため、以下ののれん償却費の合計額と一致しません。
※のれん償却費：Towa INT 795百万円、三生医薬ほか 2,558百万円

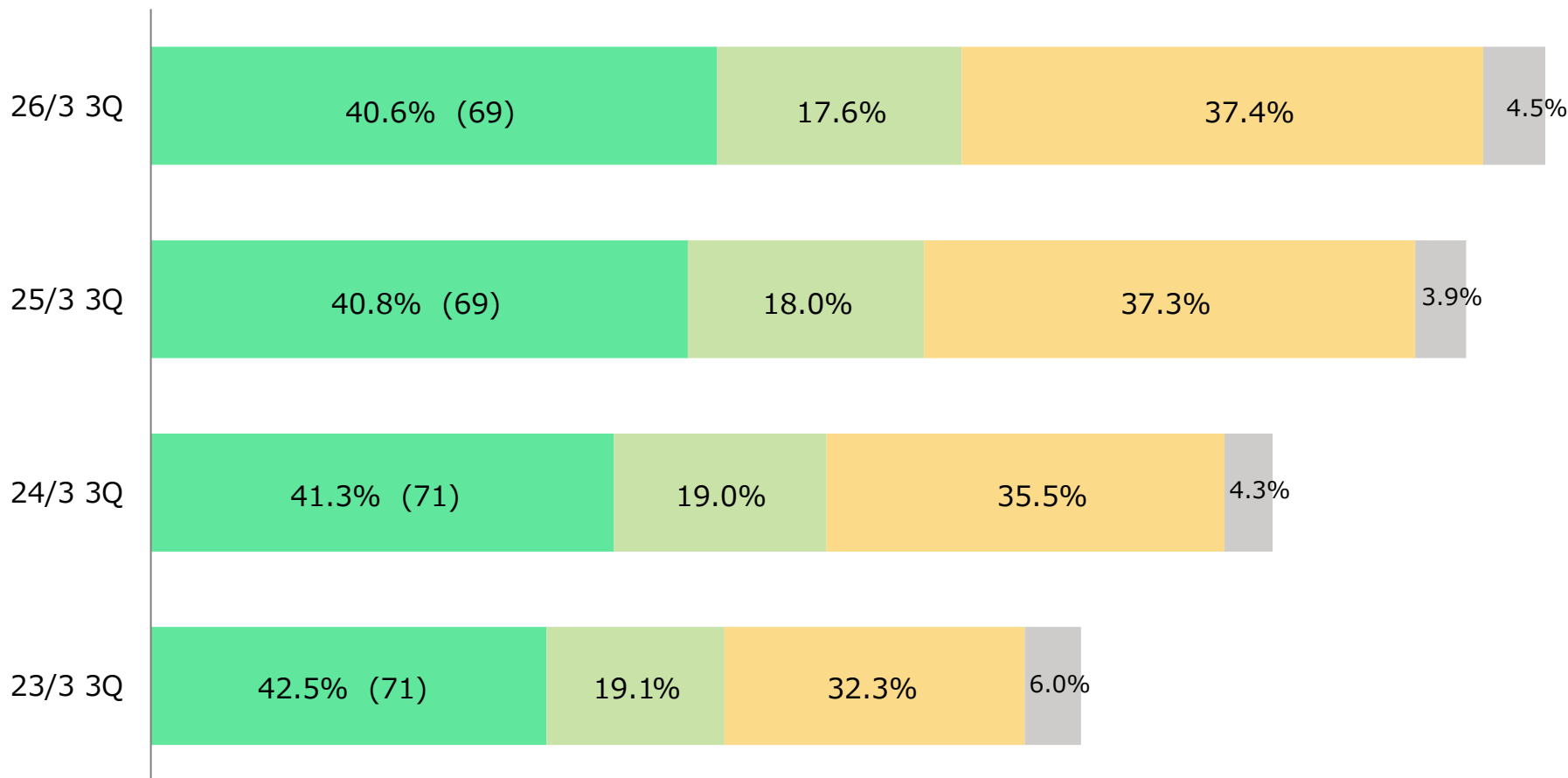
追補年度別 売上高推移（東和薬品単体）

（単位：億円）



※25年3月期より一千万円未満の端数処理方法を変更しております。

販路別 売上高推移（東和薬品単体）



■ 営業所・本社
 ■ 代理店
 ■ 医薬品卸
 ■ その他（製造受託・他社販売・輸出・新規事業）
 （ ）は営業所数

※26年3月期の営業所数には、11月末に閉所した大宮営業所を含みます。

販売費及び一般管理費（国内セグメント）

（単位：百万円，％）

	26/3 3Q			25/3 3Q	
	金額	対売上高比率	前年同期比	金額	対売上高比率
人 件 費	14,108	8.6	+ 4.0	13,564	8.8
広告宣伝費	697	0.4	+ 23.5	565	0.4
荷 造 運 賃	2,283	1.4	+ 2.5	2,227	1.4
支払手数料	4,455	2.7	- 4.7	4,673	3.0
研究開発費	10,342	6.3	+ 17.7	8,785	5.7
減価償却費	1,286	0.8	+ 19.6	1,075	0.7
そ の 他	4,811	2.9	+ 0.3	4,798	3.1
販 管 費	37,985	23.2	+ 6.4	35,690	23.1

※のれん償却費は含みません。

※研究開発部門で発生した費用につきましては、研究開発費に組み替わっております。

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

項目	25/12	25/3	増減
現金及び預金	39,819	45,471	- 5,651
受取手形及び売掛金	70,466	61,449	+ 9,016
電子記録債権	10,805	10,496	+ 308
商品及び製品	50,156	44,770	+ 5,386
その他棚卸資産	70,625	63,517	+ 7,107
その他流動資産	22,700	21,600	+ 1,100
流動資産計	264,574	247,306	+ 17,268
建物及び構築物	87,687	76,073	+ 11,614
機械装置及び運搬具	21,043	18,367	+ 2,676
リース資産	13,158	11,802	+ 1,355
建設仮勘定	26,245	40,089	- 13,844
のれん	25,356	28,115	- 2,759
その他固定資産	50,820	49,068	+ 1,752
固定資産計	224,311	223,517	+ 794
資産合計	488,886	470,823	+ 18,062

項目	25/12	25/3	増減
支払手形及び買掛金	19,168	17,918	+ 1,250
電子記録債務	11,973	12,123	- 149
短期借入金	5,664	4,699	+ 965
1年内返済予定の長期借入金	24,852	18,023	+ 6,829
リース債務	1,666	1,383	+ 282
設備関係支払手形及び未払金	4,524	9,073	- 4,548
その他流動負債	25,474	24,717	+ 757
流動負債計	93,325	87,939	+ 5,386
長期借入金	188,386	195,077	- 6,691
リース債務	13,090	11,801	+ 1,288
その他固定負債	4,394	4,379	+ 15
固定負債計	205,871	211,259	- 5,387
負債合計	299,197	299,198	- 1
為替換算調整勘定	18,763	13,921	+ 4,841
その他純資産	170,926	157,703	+ 13,222
純資産合計	189,689	171,625	+ 18,064
負債・純資産合計	488,886	470,823	+ 18,062

期末レート（TTM） 1ユーロ	25/12	25/3
	184.33円	162.08円

キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

	26/3 3Q	25/3 3Q	増減	26/3 3Q 主な内訳
営業活動によるCF	13,123	5,695	+ 7,428	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前四半期純利益 + 23,950 ・減価償却費 + 13,433 ・棚卸資産の増加 - 11,093 ・法人税等の支払額 - 8,526 ・売上債権の増加 - 8,194
投資活動によるCF	- 20,331	- 23,873	+ 3,541	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産の取得による支出 - 17,664
財務活動によるCF	103	15,582	- 15,479	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入れによる収入 + 9,530 ・長期借入金の返済による支出 - 9,831
現金及び現金同等物の 四半期末残高	39,552	29,231	+ 10,320	

**将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。**

お問い合わせ先

東和薬品株式会社 広報・IR部 IR課

ir@towayakuhin.co.jp TEL.06-6900-9102